

2014年3月期 第2四半期(上期) 決算報告



2013年11月26日
株式会社昭文社
証券コード:9475

資料の内容

1. 2014年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要・・・ 3
2. 2014年3月期 通期業績の見通し・・・ 12
3. 参考資料・・・ 18

【本資料の記載数値・内容について】

- 表示単位未満は切り捨てております。
- %表示は小数第1位未満を四捨五入しております。
- 第2四半期累計期間を上期と表記しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】

株式会社昭文社 取締役 経営管理本部長 大野真哉
電話 03(3556)8171

資料の内容

1. 2014年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要・・・ 3
2. 2014年3月期 通期業績の見通し・・・ 12
3. 参考資料・・・ 18

2014年3月期上期 連結決算概要

市販出版物の販売不振が影響し売上高は前期比4億76百万円の減少。販管費の大幅な圧縮によって損失は縮小

(百万円)

	2013年3月期 上期実績	2014年3月期 上期実績	増減額	増減率	2014年3月期 期初予想	増減額
売上高	6,694	6,217	△476	△7.1%	6,450	△232
営業損失 (売上高比、以下同)	△368 (△5.5%)	△116 (△1.9%)	251	-	△200 (△3.1%)	83
経常損失	△333 (△5.0%)	△95 (△1.5%)	238	-	△180 (△2.8%)	84
四半期純損失	△432 (△6.5%)	△161 (△2.6%)	271	-	△280 (△4.3%)	118
1株当たり四半期純損失(円)	△26.00	△9.70	16.30	-	△16.84	7.14

単一セグメントへの変更

当社グループの従来の報告セグメント

事業の中核である地図・ガイドデータベースの情報の提供方法に基づき、下記の2事業区分として報告

- 1 各種データ等を電子媒体で提供する「電子事業」
- 2 市販出版物等を紙媒体で提供する「出版事業」



経営環境の変化への対応

変化の激しい近年、出版物とスマートフォンを連動させたサービスなど、単一の媒体にとどまらない総合的なサービスの提供が重要に



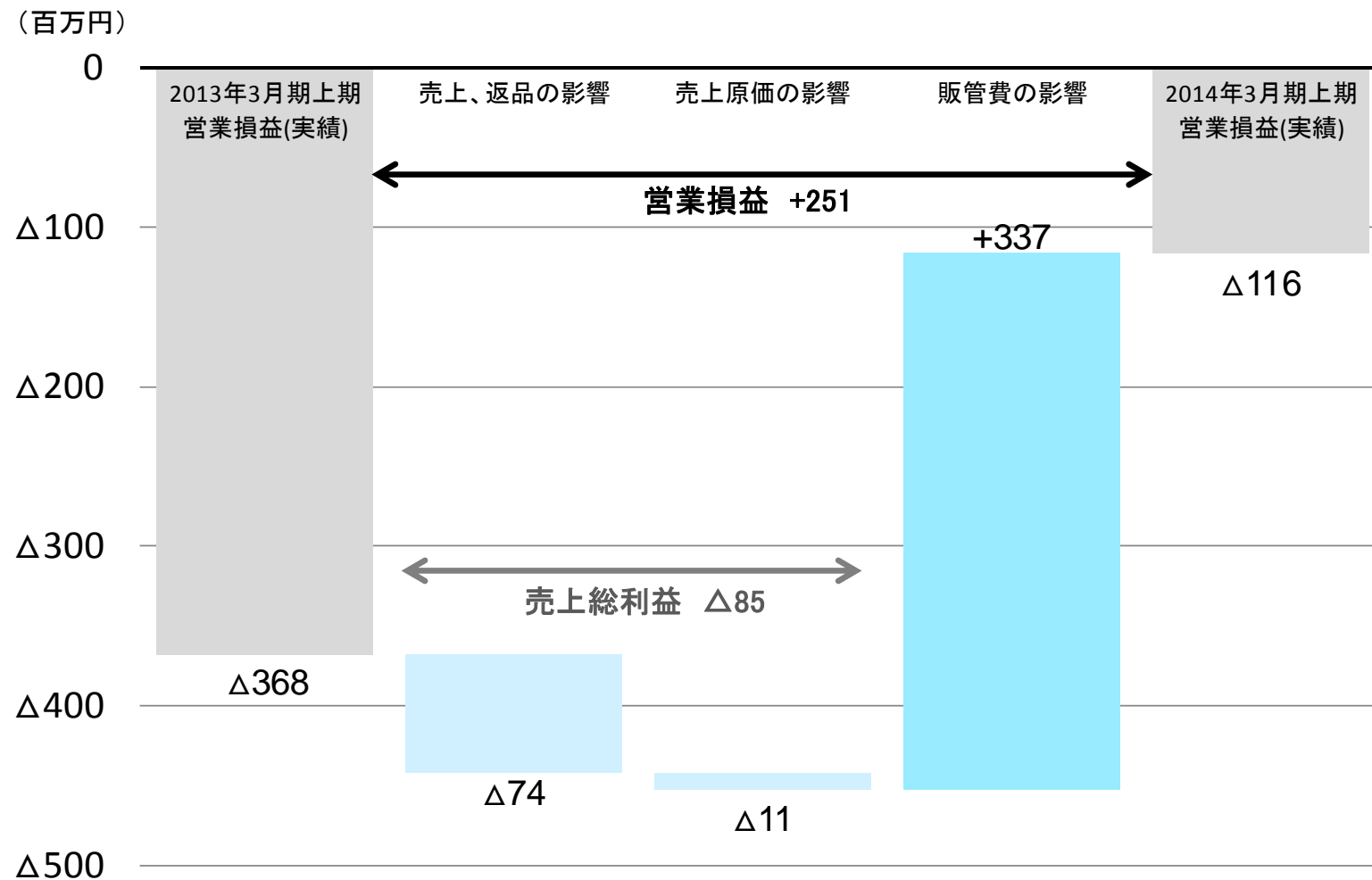
単一セグメントへの変更

提供媒体に基づく事業セグメントは適切でないと判断し、当第1四半期から **単一セグメント**に変更

2014年3月期上期 営業損益の増減分析(前年同期比)

前年同期比 +251百万円
 販管費の抑制が奏功し営業損失額は縮小

改善要因
 減益要因



2014年3月期上期 分類別売上高(前年同期比)

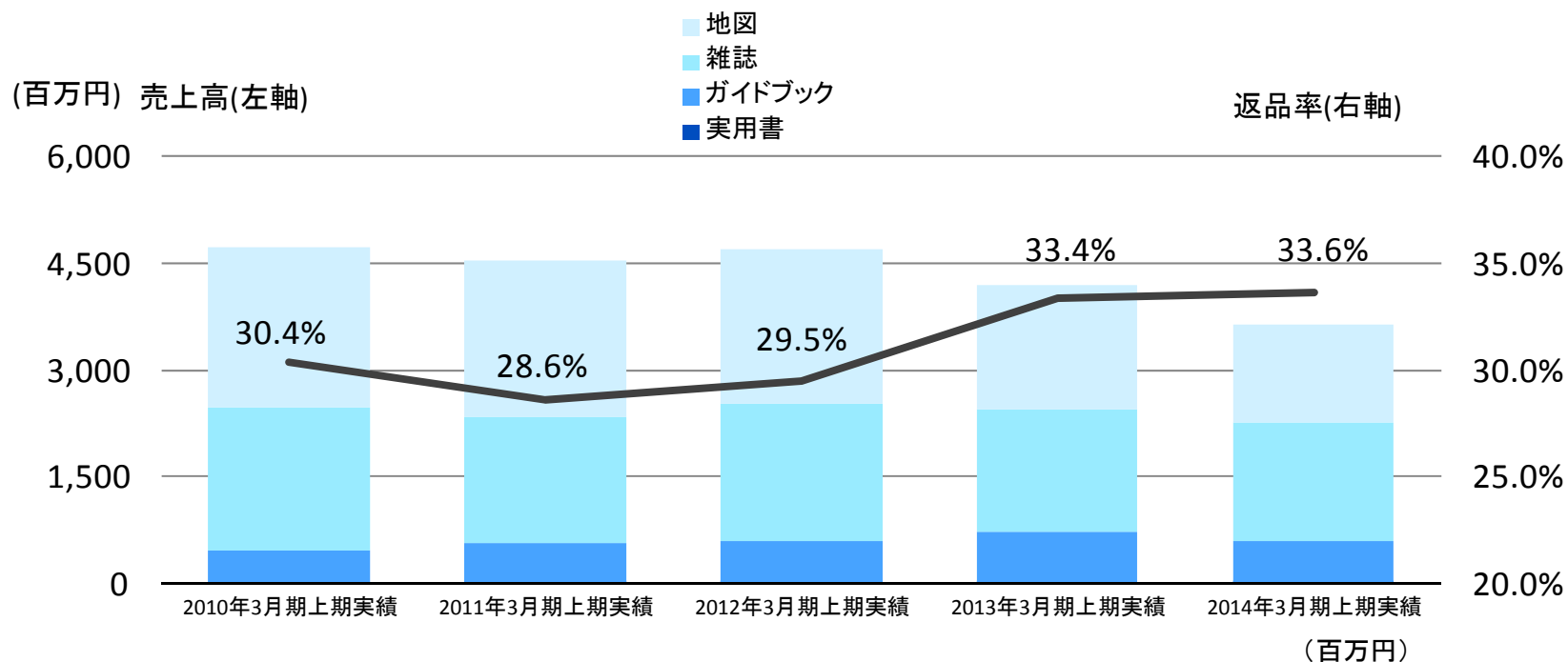
電子売上はPND(簡易型カーナビゲーション)の売上および民間企業への地図データ提供が堅調に推移し、前年同期比増

(百万円)

	2013年3月期上期		2014年3月期上期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	1,901	28.4%	2,039	32.8%	137	7.2%
手数料収入	23	0.4%	21	0.3%	△2	△10.8%
市販出版物合計	4,193	62.6%	3,638	58.5%	△555	△13.2%
地図	1,735	25.9%	1,382	22.2%	△353	△20.3%
雑誌	1,739	26.0%	1,661	26.7%	△78	△4.5%
ガイドブック	715	10.7%	586	9.4%	△129	△18.1%
実用書	3	0.0%	8	0.1%	5	165.1%
特別注作品	271	4.1%	221	3.6%	△50	△18.7%
広告収入	303	4.5%	298	4.8%	△5	△1.7%
合計	6,694	100.0%	6,217	100.0%	△476	△7.1%

2014年3月期上期 市販出版物の売上高・返品率の推移

市販出版物の返品率は増加傾向にあったものの、当上期は前年同期と同程度の水準を維持



	2010年3月期上期実績	2011年3月期上期実績	2012年3月期上期実績	2013年3月期上期実績	2014年3月期上期実績
市販出版物売上高合計	4,738	4,534	4,696	4,193	3,638
地図	2,276	2,182	2,156	1,735	1,382
雑誌	1,988	1,795	1,936	1,739	1,661
ガイドブック	475	533	591	715	586
実用書	△2	24	12	3	8
返品率	30.4%	28.6%	29.5%	33.4%	33.6%

2014年3月期上期 販管費・設備投資額・償却費の状況

売上の減少とともに広告宣伝費や研究開発費などを削減、販管費は前年同期比3億37百万円の圧縮。設備投資も抑制

(百万円)

	2013年3月期 上期実績	2014年3月期 上期実績	増減額	増減率
売上高	6,694	6,217	△476	△7.1%
販管費合計	2,223	1,885	△337	△15.2%
販売促進費	86	53	△33	△38.4%
広告宣伝費	177	105	△71	△40.5%
従業員給与・賞与	710	638	△71	△10.1%
賞与引当金繰入額	193	149	△44	△22.7%
減価償却費	75	62	△12	△17.0%
研究開発費	93	56	△36	△38.9%
その他	887	818	△68	△7.7%
設備投資額合計	341	208	△132	△38.9%
有形固定資産	71	23	△47	△67.5%
無形固定資産	270	185	△85	△31.4%
償却費合計	632	639	7	1.1%
有形固定資産	125	105	△19	△15.8%
無形固定資産	506	533	26	5.3%

2014年3月期上期 連結貸借対照表

流動資産の減少は、季節変動性(前期末に出版した商品(たな卸資産)の当上期での販売)が主要因。自己資本比率は前期末から2.0ポイント増の86.8%

(百万円)

	2013年3月期 3月末		2014年3月期 9月末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	33,795	100.0%	32,606	100.0%	△1,189	
流動資産	16,269	48.1%	15,218	46.7%	△1,050	前期末に出版した商品の販売によるたな卸資産の減少など
(うち、たな卸資産)	2,131	6.3%	1,674	5.1%	△456	
固定資産	17,526	51.9%	17,387	53.3%	△138	有形固定資産およびデータベースの償却進行など
(うち、データベース)	4,482	13.3%	4,205	12.9%	△277	
負債合計	5,143	15.2%	4,311	13.2%	△831	
流動負債	3,910	76.0%	3,029	70.3%	△880	支払手形及び買掛金の減少など
固定負債	1,233	24.0%	1,281	29.7%	48	
純資産合計	28,652	84.8%	28,295	86.8%	△357	(自己資本比率 86.8% 2.0Pt増)
株主資本	28,300	98.8%	27,806	98.3%	△493	剰余金の配当および四半期純損失の計上による利益剰余金の減少
その他の包括利益累計額	351	1.2%	488	1.7%	136	その他有価証券評価差額金の増加
負債・純資産合計	33,795	100.0%	32,606	100.0%	△1,189	

2014年3月期上期 連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の回収、投資有価証券の売却を主な要因として、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末から16億42百万円増

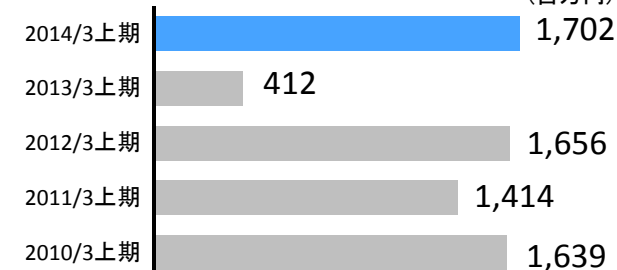
(百万円)

	2013年3月期 上期実績	2014年3月期 上期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	412	1,702	1,290	売上債権の減少 +726 たな卸資産の減少 +157
投資活動による キャッシュ・フロー	△361	413	775	投資有価証券の売却 +596 無形固定資産の取得の減少 +100
財務活動による キャッシュ・フロー	△554	△473	80	
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△504	1,642	2,146	
現金及び 現金同等物の 四半期末残高	8,158	10,121	1,963	

過去5年間推移

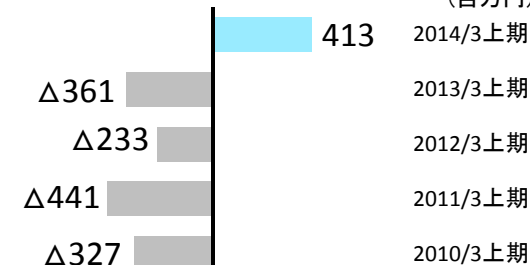
営業活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



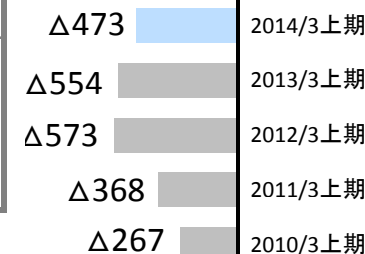
投資活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



財務活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



資料の内容

1. 2014年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要・・・ 3
2. 2014年3月期 通期業績の見通し・・・ 12
3. 参考資料・・・ 18

2014年3月期 通期の見通し

2014年3月期上期 業績概要

売上高

〈対前年同期〉 4億76百万円減の大幅な減少

〈対期初予想〉 予想との大幅な乖離はなし

各段階利益

〈対期初予想〉 売上原価、経費面が削減傾向になり、予想より改善

2014年3月期下期 事業環境の認識

売上高

売上構成比の高い市販出版物の売上は依然として厳しくなると予想

経費面

スマートフォン向けサービスの拡充や新規事業への取り組みなどで、経費は増加見通し



業績予想の修正

以上の状況を踏まえ、本年10月30日、[業績予想の修正](#)を発表

2014年3月期 通期業績予想の修正(期初予想比)

売上高:市販出版物の販売減少が続く見込みで前年比3億5千万円減少の見通し

各段階利益:上期の販管費抑制の効果もあり、期初予想並みを確保の見通し

(百万円)

	2014年3月期通期予想 (本年5月15日発表)	2014年3月期通期予想 (本年10月30日発表)	増減額	増減率
売上高	14,340	13,990	△350	△2.4%
営業利益 (売上高比、以下同)	460 (3.2%)	450 (3.2%)	△10	△2.2%
経常利益	500 (3.5%)	490 (3.5%)	△10	△2.0%
当期純利益	310 (2.2%)	330 (2.4%)	20	6.5%

2014年3月期 通期業績の見通し(前年比)

売上高は減少するものの、前期特殊要因(原価率の高い新刊海外ガイドブックの出版)の解消による原価率の改善などで、営業利益、経常利益の黒字幅は拡大の見通し

(百万円)

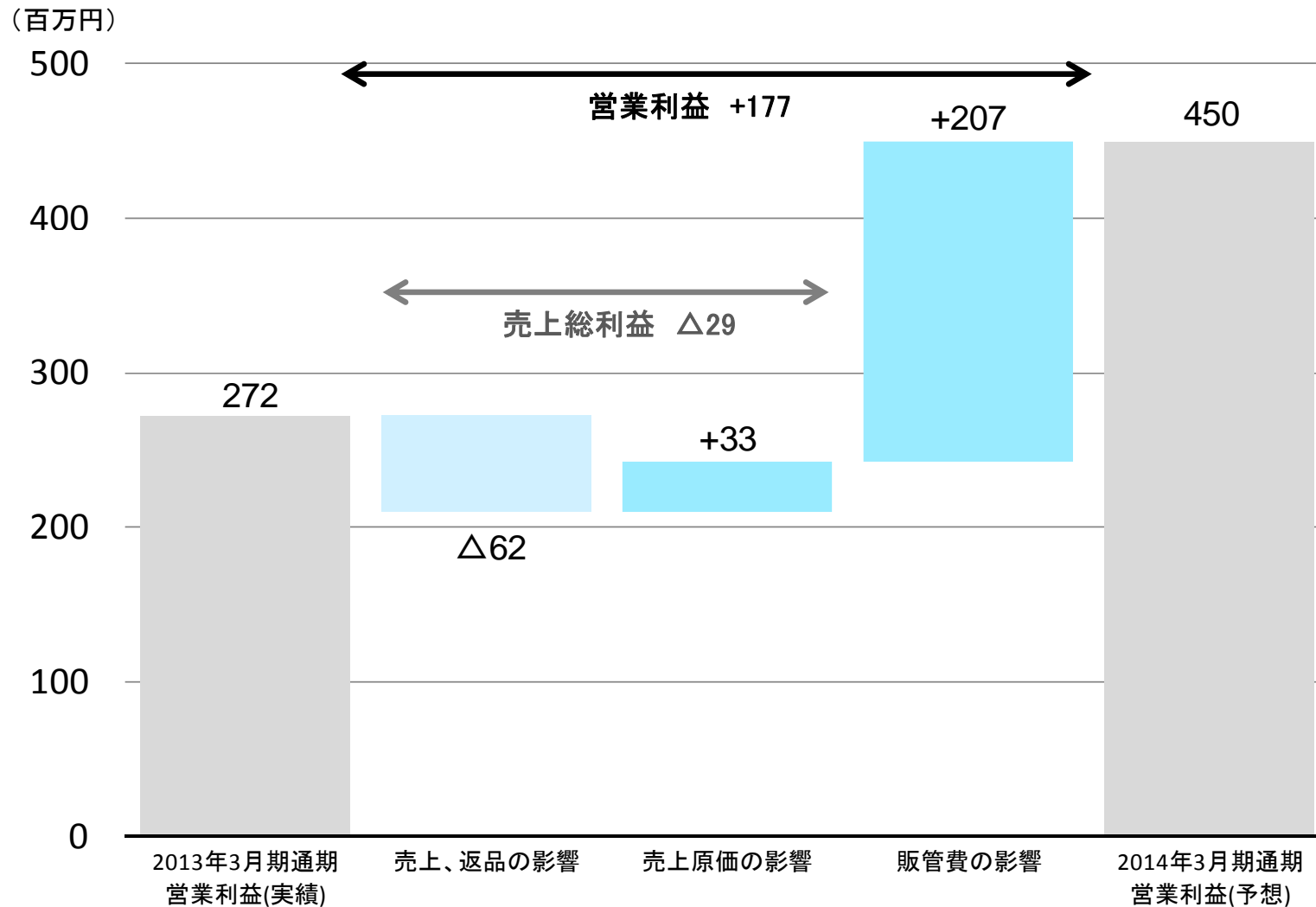
	2013年3月期通期 実績	2014年3月期通期 予想 (本年10月30日発表)	増減額	増減率
売上高	14,638	13,990	△648	△4.4%
営業利益 (売上高比、以下同)	272 (1.9%)	450 (3.2%)	177	65.3%
経常利益	334 (2.3%)	490 (3.5%)	155	46.4%
当期純利益	357 (2.4%)	330 (2.4%)	△27	△7.8%
1株当たり当期純利益(円)	21.52	19.85	△1.67	△7.8%
設備投資額合計	608	770	162	26.6%
有形固定資産	116	100	△16	△13.8%
無形固定資産	491	670	179	36.5%
償却費合計	1,300	1,310	10	0.8%
有形固定資産	253	229	△24	△9.5%
無形固定資産	1,047	1,081	34	3.3%
研究開発費	182	140	△42	△23.1%

2014年3月期通期 営業利益の増減分析(前年比)

前年同期比 +178百万円

原価率改善・販管費抑制が売上減少を補い、通期営業利益は増加見込み

■ 増益要因
■ 減益要因



2014年3月期通期 分類別売上高の見通し

ガイドブックの減少は前期創刊の海外ガイド『トラベルデイズ』の反動減が主な要因。電子売上は増加の見通し

(百万円)

	2013年3月期通期		2014年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	4,920	33.6%	5,360	38.3%	439	8.9%
手数料収入	40	0.3%	65	0.5%	24	61.1%
市販出版物合計	8,158	55.7%	7,155	51.1%	△1,003	△12.3%
地図	3,470	23.7%	3,110	22.2%	△360	△10.4%
雑誌	3,238	22.1%	2,970	21.2%	△268	△8.3%
ガイドブック	1,432	9.8%	1,050	7.5%	△382	△26.7%
実用書	16	0.1%	25	0.2%	8	47.3%
特別注文品	772	5.3%	730	5.2%	△42	△5.5%
広告収入	745	5.1%	680	4.9%	△65	△8.8%
合計	14,638	100.0%	13,990	100.0%	△648	△4.4%

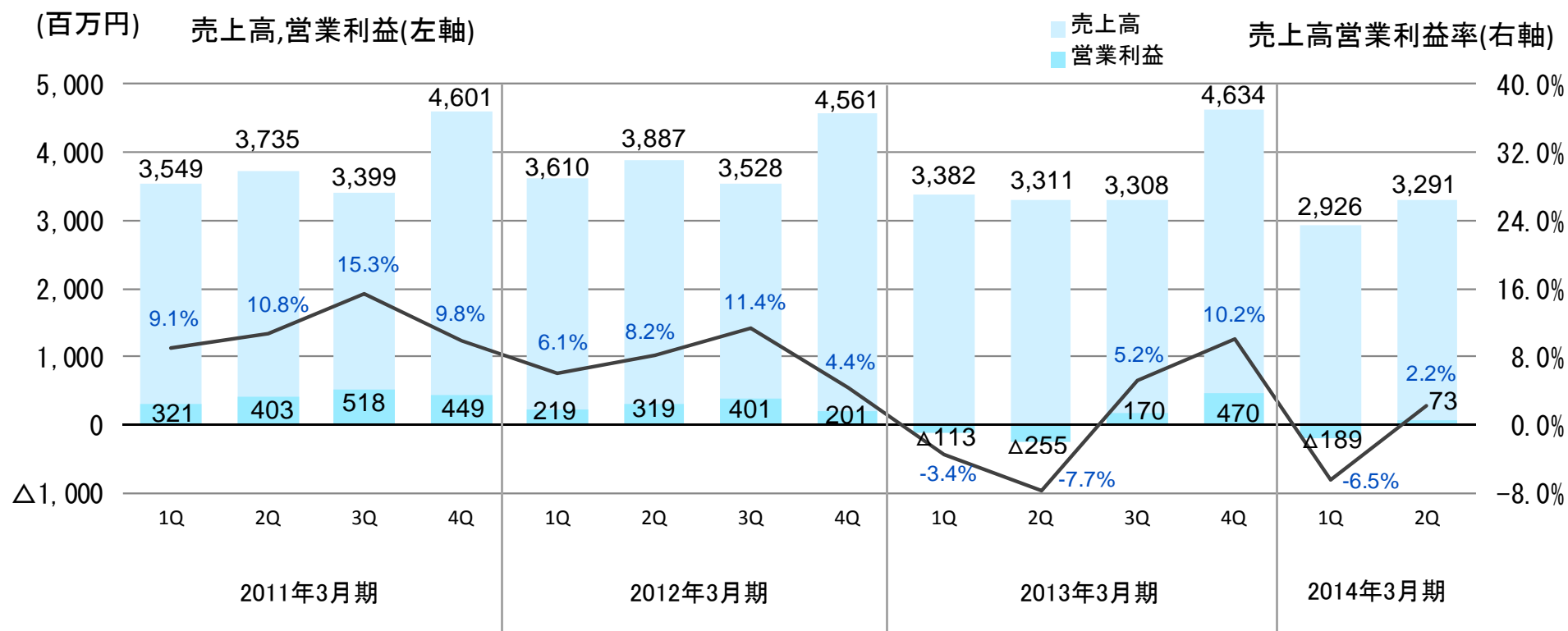
資料の内容

1. 2014年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要・・・ 3
2. 2014年3月期 通期業績の見通し・・・ 12
3. 参考資料・・・ 18

【参考】四半期別売上高、営業利益(率)の推移

当第2四半期は、原価率改善・コスト削減を要因として営業利益が2期ぶりに黒字化

【四半期別売上高、営業利益(率)の推移】



【参考】2014年3月期上期 グループ主要トピックス

発表日	トピックス内容
4月18日	【連結子会社 キャンバスマップ株式会社】 iPhone向け本格カーナビゲーションアプリ『マップルナビS』がバージョンアップ 災害時に役立つ「帰宅支援モード」搭載
4月23日	【昭文社・IR】 当社連結子会社の株式会社昭文社デジタルソリューションにおける会社分割(吸収分割)に関する吸収分割契約締結のお知らせ
5月27日	【昭文社】 女性に大人気のガイドブック『ことりっふ』シリーズの初の翻訳版・中国語繁体字版発売、第一弾は『東京』『京都』『沖縄』版
7月8日	【昭文社】 世界文化遺産に登録された富士山とその周辺を最大限に満喫する楽しみ方をご案内するガイド『まっふるマガジン 富士山』発売
8月22日	【連結子会社 株式会社マップル・オン】 スマートフォン向けGPSゴルフナビアプリ『GOLFな日』に音声アシスト機能を追加
8月27日	【昭文社】 大人気ガイドブック『ことりっふ』のウェブマガジンスタイルのコミュニティサイト開設
9月4日	【連結子会社 キャンバスマップ株式会社】 iPhone向け本格カーナビゲーションアプリ『マップルナビS』の進化版『マップルナビK』販売開始
9月24日	【昭文社】 日本のよいものをことりっふ編集部が目利きでセレクト『ことりっふお取り寄せ』サイト(通販サイト)オープン



注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられませうお願いいたします。